

全国の社員への「損保ジャパン版オンライン診療」の提供

～睡眠時無呼吸症候群検査と禁煙外来で、社員の「受診の壁」を解消～

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）は、社員の多様な働き方と健康増進を支援するため、本社ビル内の損保ジャパン診療所（企業内診療所）において、初診から利用可能なオンライン診療の対象を拡充し、2026年6月15日より新たに「睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査」および「禁煙外来」の試行を開始します。

1. 背景・目的

損保ジャパンは、お客さまへ「安心・安全・健康」をお届けするためには、まず社員自身が心身ともに健康であることが不可欠であると考え、「健康経営」に取り組んでいます。

こうした中、国民病とも言える「花粉症」による業務効率の低下を防ぎたいという社員のニーズに応えるため、2026年3月より先行して「花粉症のオンライン診療」を試行実施しました。

今回、ビジネスパーソンの「睡眠負債」が社会課題になる中、社員からの「日中の眠気が気になるが業務が多忙で受診できない」「禁煙したいが通院の時間が確保できない」という、より切実な声を踏まえ、「睡眠障害」と「禁煙外来」のオンライン診療を試行開始します。

時間や場所を問わず、全国どこからでも受診できる「デジタルな社内医療インフラ」を提供することで、社員の通院負担と地域格差を同時に解消し、潜在的な健康リスクの「早期発見・健康改善」を後押しします。

2. オンライン診療の内容と特長

一般的な外部サービスを利用するのではなく、損保ジャパンの事業や働き方を熟知した常勤の産業医・看護師が直接診療から伴走サポートまでを行う、損保ジャパン独自の「顔が見える」オンライン診療です。また本社ビル診療所の受診歴がない社員でも初診からオンライン診療・薬剤の発送までをワンストップで完結する点も最大の特徴です。

（1）対象者：損保ジャパンの全役員・全社員

(2) 対象診療科・サポート内容

睡眠時無呼吸 症候群検査	WEB 会議システムでの社内産業医の診察後、自宅で実施可能な「簡易検査キット」を社員へ直送し、通院や待ち時間の負担を大幅に軽減します。
禁煙外来	初診からのオンライン受診と職場への処方薬配送をワンストップで提供。損保ジャパンの働き方を熟知した産業医・看護師が伴走することで、社外医療機関よりも社員一人ひとりの実情に寄り添った、きめ細やかなサポートで、無理のない卒煙達成を後押しします。

(3) 試行期間：2026年6月15日～9月7日

3. 今後について

損保ジャパンは、今回の試行を通じた利用状況の検証や効果測定を踏まえ、オンライン診療特有の制限や課題に十分留意しながら、通院の継続が課題となりやすい生活習慣病などへの対象拡大も視野に入れ、オンライン診療の本格展開を目指します。今後も社員一人ひとりの自律的な健康増進に寄り添い、さらなる「健康経営」を推進していきます。

以上